全国建設工事業国民健康保険組合

北海道西

支部別健康レポート 2025

【対象】
各年度内一日でも在籍した被保険者
（年度末年齢40歳以上）

貴支部					組合全体			
所属人数	健診受診人数	平均年齢	男性比率	女性比率	所属人数	平均年齢	男性比率	女性比率
5,805人	2,251人	57.9歳	64.8%	35.2%	66,029人	55.8歳	65.8%	34.2%

※2025年度時点で集計

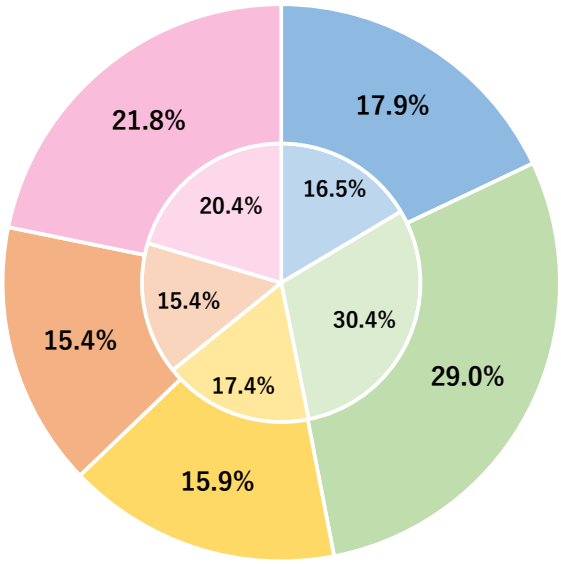
健康年齢

実年齢と健診結果に基いて算出した健康年齢との差の平均を組合全体と比較。
組織の健康状態を表す総合指標として活用してください。

実年齢平均	健康年齢平均
56.8歳（56.6歳）	58.0歳（57.8歳）
実年齢と健康年齢の差（平均）	
+1.17歳（+1.17歳）	
組合全体	
+0.90歳（+0.96歳）	

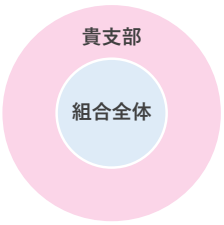
（）内は前年度の数値

実年齢と健康年齢の差の構成人数※1・構成割合（2025年度）



－4歳未満	401人
－4歳以上－1歳未満	648人
－1歳以上＋1歳未満	355人
＋1歳以上＋4歳未満	343人
＋4歳以上	487人
合計	2,234人

※1 健康年齢の算出が可能な個人について、健康年齢－実年齢を算出し、その値の階級ごとの人数を示している。



【総合コメント】

【健康年齢】
貴支部の実年齢と「健康年齢」の差は+1.17歳でした。（組合全体：+0.90歳）

【健康状況に対するアドバイス】

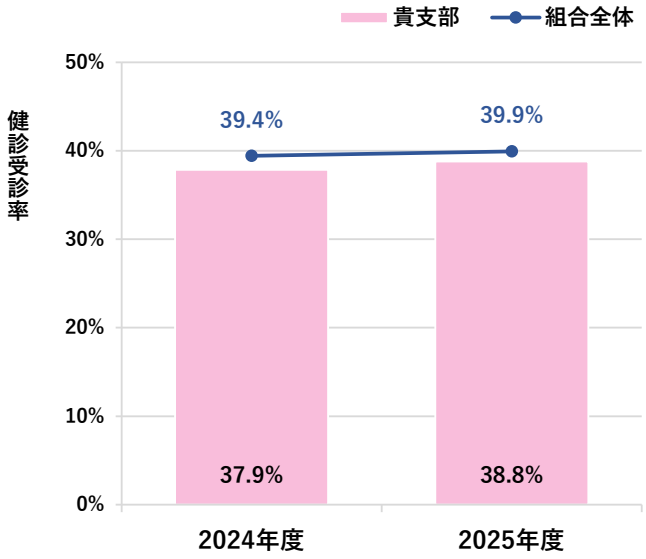
血圧の値が異常である方の割合が高い傾向です。適切な受診と、下記を参考に生活習慣を見直してみましょう。
・揚げ物やお菓子、砂糖が入った飲み物を控え、野菜を毎食食べる
・塩分を控える（減塩食品や香辛料、香味野菜、だしの活用など）
・飲酒量・飲酒日を減らす（1日の適量はビール500mlまたは焼酎グラス1杯：25度100mlまで、週2日は休肝日）
・運動する（ウォーキングやジョギングなど）
・禁煙する

【生活習慣に対するアドバイス】

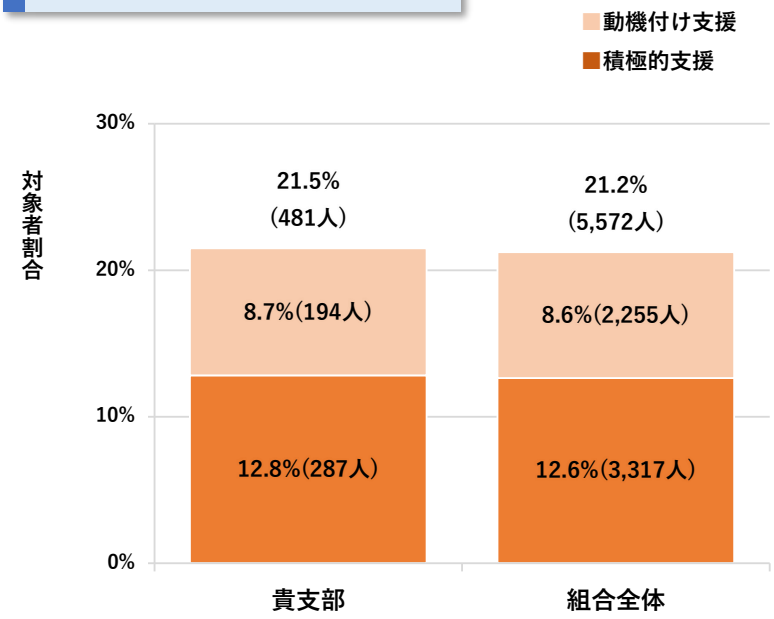
運動/身体活動/早歩きの習慣がある方の割合が低い傾向です。定期的な運動は、さまざまな疾病や健康状態のリスクを減らします。毎日60分以上の身体活動（目安は1日8000歩以上）、週2~3日の筋トレをこころがけましょう。また、30分に1回は立つなど座りっぱなしの時間を減らしましょう。

【生活習慣病リスク分布】
◆本来治療するべき数値であるにも拘わらず未受診の方が197人います。
※将来的な重症化予防のためには、これらのリスク者の生活改善や適正な受診行動が望まれます。

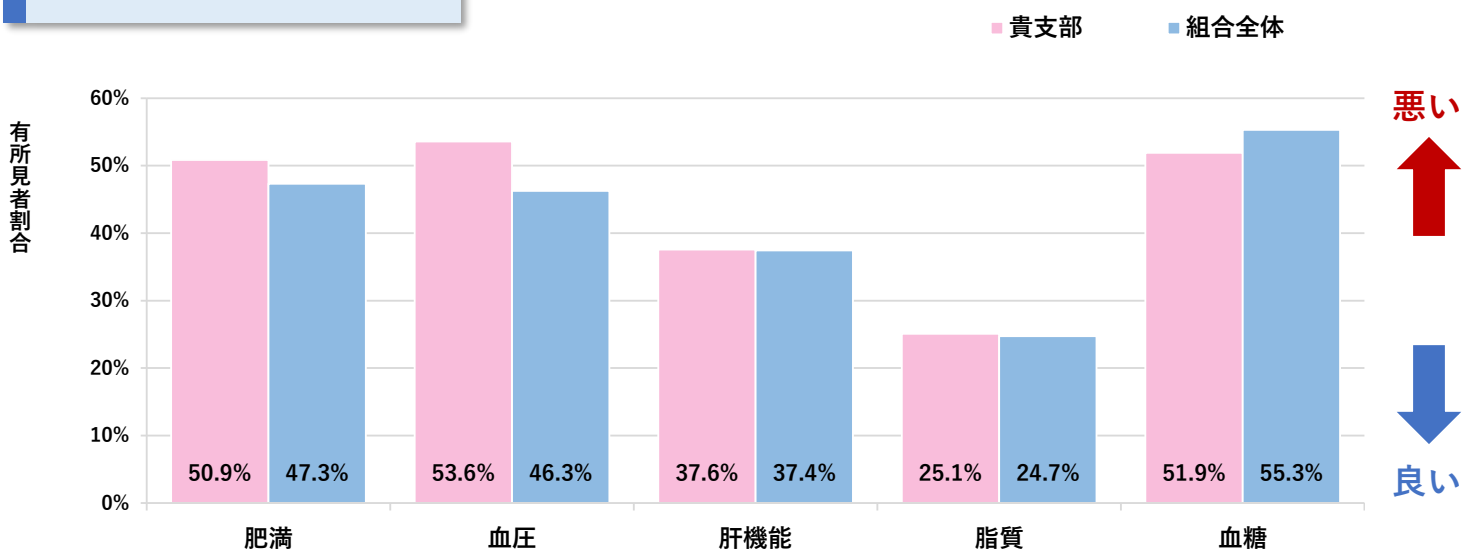
健診受診率



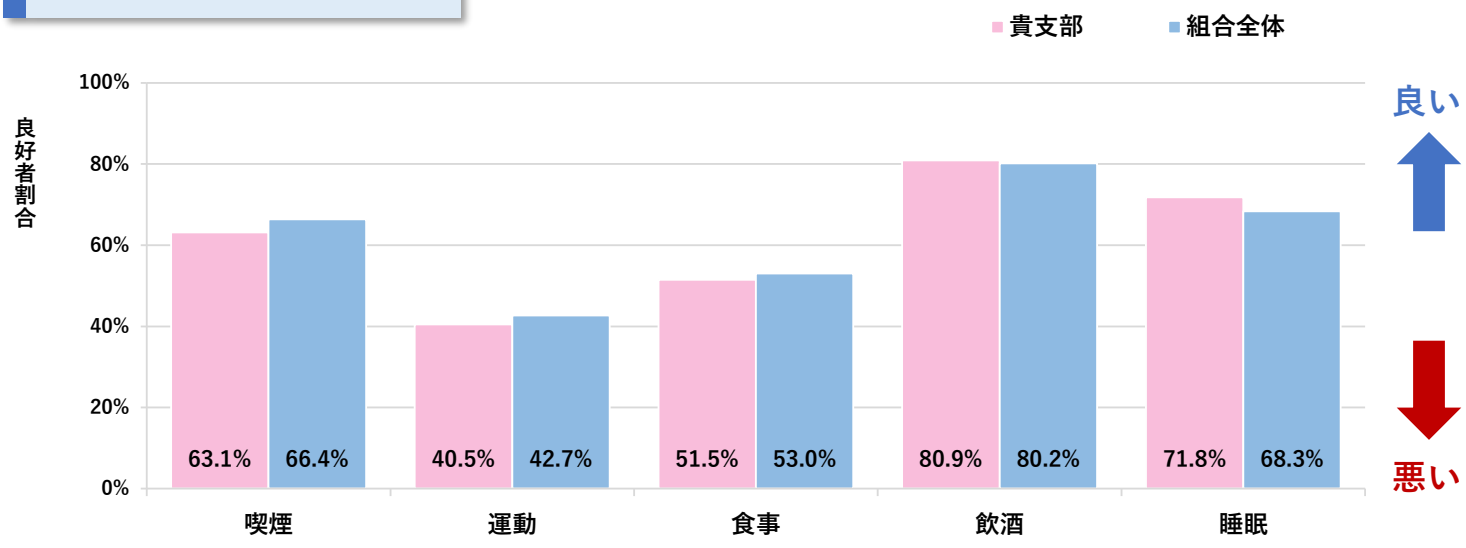
特定保健指導対象者割合



健康状況



生活習慣

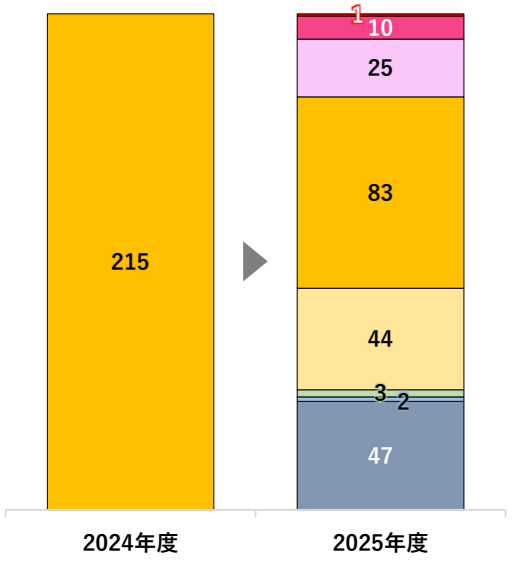


生活習慣病リスク分布

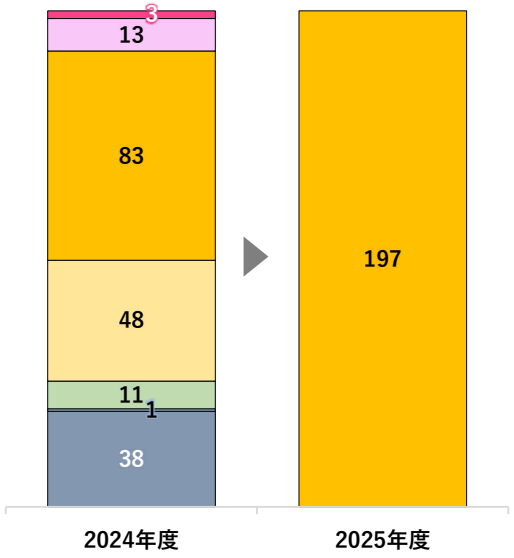
健診結果および医療機関受診状況から、リスクの保有者分布を8階層に分けて図示。
階層が右に進行するほど生活習慣病の悪化を表しています。

生活習慣病レベル		生活習慣病で通院していない					生活習慣病で通院している		
		不明	正常	保健指導が必要	病院で診察を受けた方が良い	治療する必要がある	通院中で合併症はない	通院中で合併症に進行	通院中で重篤
人数	貴支部 2024年度	2,225人	192人	361人	528人	215人	1,665人	1,086人	87人
	貴支部 2025年度	1,982人	167人	341人	500人	197人	1,546人	988人	84人
割合	貴支部 2024年度	4.6%	8.7%	12.8%	5.2%	40.3%		26.3%	2.1%
	貴支部 2025年度	4.4%	8.9%	13.1%	5.2%	40.4%		25.8%	2.2%
	組合全体 2025年度	5.6%	11.0%	14.2%	4.6%	39.9%		22.6%	2.0%
該当者あたり医療費（組合全体 2025年度）		128,014円	127,777円	127,087円	89,529円	369,178円		567,929円	2,447,617円

2024年度「治療する必要がある」 ▶ 2025年度



2024年度 ▶ 2025年度「治療する必要がある」



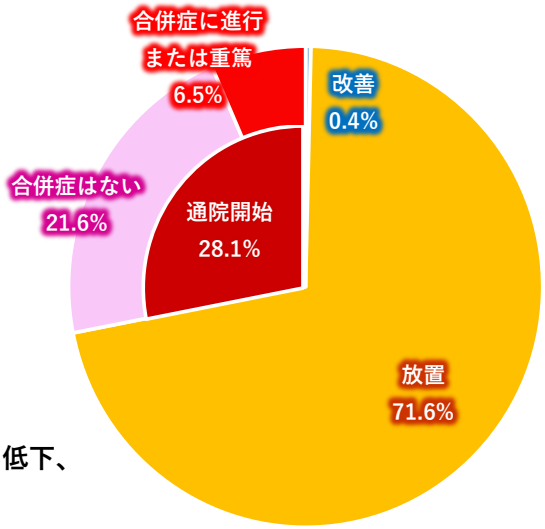
当組合内の2024年度に治療する必要がある人のうち、実際に治療を開始した人はわずか28.1%、
そのうち合併症または重篤な疾患を発症した人は6.5%、
依然として放置している人は71.6%にも上ります。

【貴支部の状況】

◆治療する必要がある … 197人

◆病院で診察を受けた方が良い … 500人

今年度の貴支部においては、
治療する必要がある人が197人いるため、
約72%にあたる141人が放置してしまう恐れがあります。



生活習慣病を放置し悪化すると、脳卒中や心筋梗塞、腎臓病などの
合併症を発症するほか、人工透析、失明、半身麻痺など生活機能の著しい低下、
医療費の増大など日常生活において様々な制約を受けることになります。

放置せず早めの対策・受診が肝心です！

全国建設工事業国民健康保険組合

北海道西

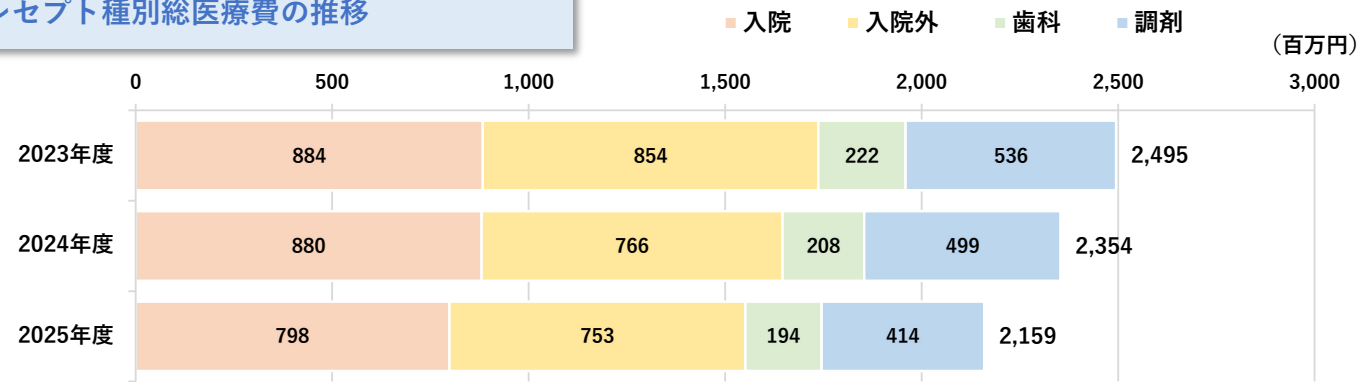
支部別医療費レポート 2025

【対象】
各年度内一日でも在籍した被保険者
（全年齢）

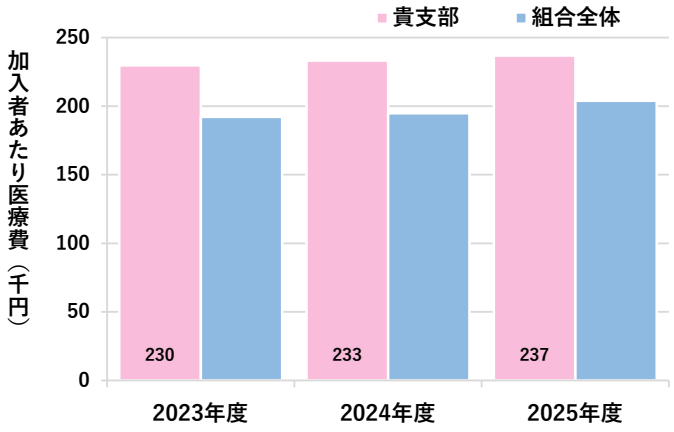
貴支部				組合全体			
所属人数	平均年齢	男性比率	女性比率	所属人数	平均年齢	男性比率	女性比率
9,113人	44.2歳	62.5%	37.5%	120,665人	39.5歳	62.9%	37.1%

※2025年度時点で集計

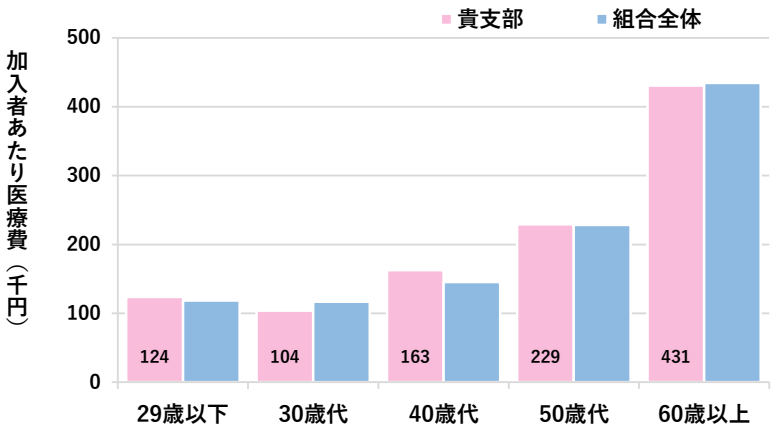
レセプト種別総医療費の推移



加入者あたり医療費



年代別加入者あたり医療費（2025年度）



疾患別 患者あたり医療費（2025年度）

